

カーボン・オフセットのあり方に関する検討会の設置について

1. 検討会設置の背景

「カーボン・オフセット」とは、日常生活や経済活動において避けることができないCO₂の排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出されるCO₂についてその排出量を見積り、排出量に見合ったCO₂の削減活動に投資すること（具体的には、排出削減プロジェクトの実施に伴う排出削減量の取得）により、排出されるCO₂を埋め合わせるという考え方である。英国を始め欧州等での取組が活発であり、我が国でも民間での取組が始まりつつある。

カーボン・オフセットは、オフセットを行う主体自らの削減努力を促進する点で、これまで排出が増加傾向にある業務、家庭部門等の取組を促進することが期待されるが、一方で、オフセットをすれば排出削減努力をしなくてもよいという誤った考え方が流布する懸念や、英国において、オフセットするための削減活動が実質的なCO₂削減に結びついていない事例が指摘されている。

2. 検討会の目的

カーボン・オフセットの取組が広まることにより、事業者、国民等幅広い主体による自主的なCO₂の排出削減の実施が促進され、京都議定書の目標達成にも資することになる。

他方、我が国においてカーボン・オフセットの取組を広めるためには、英国等で指摘されている問題点を分析するとともに、我が国において適切なカーボン・オフセットが行われるよう整理する必要がある。

このため、有識者からなる「カーボン・オフセットのあり方に関する検討会」を設置し、我が国におけるカーボン・オフセットのあり方等を明らかにする。なお、本検討会は公開で行うこととする。

3. 主な検討事項

- ・ 国内外のカーボン・オフセットの事例のレビュー
- ・ カーボン・オフセットのあり方の整理
 - オフセットする主体はまず自ら削減努力を行うという原則の確立
 - オフセットの対象となる排出量の算定方法
 - オフセットに用いる排出削減量の考え方
- ・ カーボン・オフセットの実施体制
- ・ オフセットの普及に関する国としての支援手法